

「1年の終わりに」

校長 安藤 徹



いよいよ今年最後の月となってしまいました。毎年この時期になると思うのですが、年々1年が過ぎるのが本当に早く感じ、気がつくとき新しい年を迎えているという感覚です。

余談ですが、なぜそう感じるのかという素朴な疑問を解く一つのカギとして「ジャンネの法則」という法則があることを知りました。この法則は、19世紀のフランスの哲学者・ポール・ジャンネが発案した法則で、「主観的に記憶される年月の長さは年少者にはより長く、年長者にはより短く感じられる」という現象を、心理学的に説明したものです。

例えば、50歳の人にとって1年の長さは人生の50分の1ほどですが、5歳の人にとっては5分の1に相当します。つまり、50歳の人にとっての10年間は、5歳の人にとっての1年間にあたり、5歳の人にとっての1日は、50歳の人にとっての10日にあたることとなります。「生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例する」ということで、生きてきた年数に対する1年の相対的な長さがどんどん小さくなることによって、時間が早く感じるというわけです。当たり前のことではありますが、思わず納得してしまいました。

しかし、それぞれの人が感じる時の長さや速さは違って、どんな人にとっても毎年毎年大切な一年だということには違いはないと思っています。

ところで話は変わりますが、今年2023年は4月に岩戸支援学校に校名変更となり、また5月には新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、ある意味では学校としても再出発の1年となりました。これまでの3年間、教育活動上の様々な制限や変更をせざるを得ない中、生徒たちは本当によく頑張り、コロナ禍前の当たり前を今、そしてこれからの時代に相応しい当たり前に変えることができました。

また、来年は岩戸支援学校が平成22年に岩戸養護学校として開校してから15年目を迎えます。また一つの節目の年を迎えることとなります。私が大好きな言葉である「不易流行」の精神を大切に、これまでの岩戸支援学校の良い伝統をいかしながらこれからの時代に合った学校作りをこれからも行っていきたいと考えていますのでどうぞよろしくお願いします。

さて、また話は変わりますが、さる11月10日（金）に令和5年度神奈川県優秀授業実践教員の表彰式が神奈川県庁で行われ、その中で本校の大河内 渉（おおこうちわたる）教諭が表彰されました。これは神奈川県教育委員会が主催となり毎年県内の特別支援学校のほか小・中・高等学校の教員を対象に「学校教育における授業実践に優れ、教員の模範として推奨すべき人を表彰し、教員全般の意欲および資質能力の向上に資することを目的として」実施されているものです。今年度は県内の学校から45名の教員が推薦され表彰を受けました。とても名誉ある受賞ではありますが、あわせてこれからの神奈川の教育を引っ張っていく人材として頑張ってもらいたいと思っています。



1年の終わりにこのようなお知らせをお伝えし、締めくくることができ大変うれしい思いです。今年も様々な方々に支えられ岩戸支援学校の1年が終わります。皆様の来年が今年よりもさらに良い1年となりますようにお祈りしております。

令和5年12月1日